

桜の庄兵衛

information vol.37

10月22日(日)

●昼の部 13:00開演(12:30開場)

●夕の部 16:30開演(16:00開場)

出演

Emgo バセットホルン倶楽部
鈴木 豊人(すずき とよひと)
松原 央樹(まつばら ひろき)
寺岡 陽子(てらおか ようこ)

プログラム

W.Aモーツァルト:喜遊曲 Nr.1
W.Aモーツァルト:ソナタ
W.Aモーツァルト:「フィガロの結婚」より
“恋とはどんなものかしら”
他

プロフィール

鈴木 豊人

桐朋学園大学卒業。ケルン音楽大学に留学。1976年より10年間、キール市立フィルハーモニー・オーケストラ首席奏者として活躍。喜田賦、(故)北瓜利世、(故)F.クラインの各氏に師事。サイトウキネン・オーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、アンサンブル・ペガのメンバー。

松原 央樹

京都市立芸術大学卒業。在学中、同大学定期演奏会に協奏曲のソリストとして選ばれる。卒業と同時に大阪市音楽団に入団。92年、ザルツブルグ・モーツァルトフェスティバルにて、A.プラントホッフナー氏に師事。93年、NHK洋楽オーディションに合格、NHK・FM「土曜リサイタル」に出演。94年、シュラットミンク・マスターコース修了。

88年、92年、96年、02年にリサイタルを開催。クラリネットを内海伸見、朝比奈千足、鈴木豊人の各氏に師事。室内楽グループ「アフター・アワーズ・セッション」のメンバー。

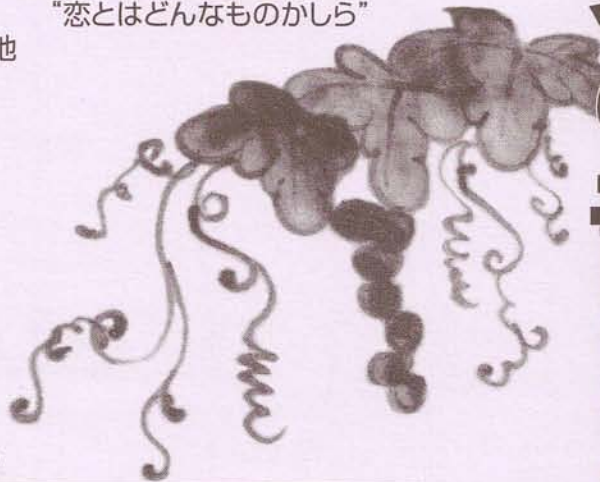
寺岡 陽子

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。ウィーン国立音楽大学に留学。ヨーロッパ各地の国際音楽アカデミー・マスタークラスにてディプロム取得。NPO若い芽のオーディション、ソロ部門にてNHK岡山局長賞、室内楽部門にてロータリークラブ賞受賞。ソロリサイタル、オーケストラとの協奏曲共演、室内楽など演奏活動を行う。

クラリネットを松原幸子、石橋耕三、(故)北瓜利世、A.プリンツの各氏に、クラリネットと室内楽を鈴木豊人氏に師事。

古の楽の音ひびく コンサート

バセットホルンという楽器をご存知ですか。十八世紀末に誕生し、モーツァルトがこよなく愛したクラリネットの仲間です。百年以上顧みられることなく忘れ去られていたこの楽器は、今も希少で日本で演奏される機会も多くありません。この度、桜の庄兵衛では「モーツァルトの時代と同じ音色でモーツァルトの曲を」と三人の楽士をお迎えすることになりました。バセットホルン独特の美しく澄んだ柔らかい音色をクラリネットと共に楽しんでみてください。親しみやすく聴き覚えのある曲も用意していただいています。



「蒼き風吹き渡る日のコンサート」に相応しい清々しい五月晴でした。開演が告げられ、匂やかな青年と二人の美女の入場。すてきな方の紹介ですぐに和やかな雰囲気が生まれました。リンベ(笛)とホーミー(1人で2つの声を同時に歌うという芸術)の青年はモンゴルのマハバル・サウガゲレルさん。蒙古帽に赤い領布(ひれ)を垂らし、腰の帯から笛袋を下げた立姿にうっとり。二人の美女の一人は揚琴(ヨーチン)奏者山本敦子さん、牡丹色のモンゴル国の衣装に帽を戴き華やか。今一人は二胡(ホーチル)奏者鳴尾牧子さん。水色のモンゴル国の衣装、帽の両端から涼しげな珠の細紐が垂れチャーミング。十五の演目の約半分が、リンベ、ヨーチン、ホーチルの合奏。ヨーチン、ホーチルの華やかな音色にリンベが加わると風を感じました。プロローグの合奏は「アウガの白い山」珍しい楽器とその音に魅せられるうちに終わりました。その他の合奏「草原情歌～賽馬」サイバーとは5才～8才の子供の競馬、50kmも走る由。はじめは草原を吹く風のようななら草の青さを笛が表現。サウガゲレルさんは遠い山並み、子供達の馬の集まりを見つめている面持。と、突然二胡による馬の嘶(いななき)(本物そっくり)更に疾走する蹄の音。陶然としていた一同は一斉に目を覚ましました。二胡の技に驚きました。「黄金の宮殿」はリンベかホーチルか区別つかぬ息の合った音色。「ジャラム・ハル」は黒馬のジャラム・ハルの曲。ダンス曲で集合、離散、馳けるリズムがたのしい。ゆるむと談笑風景が想像されました。最後に二胡による嘶が再び聞けてとても楽しい曲でした。合奏で三つの日本歌もきかせて下さいました。「浜辺のうた」「赤とんぼ」「ふるさと」。興奮の合間のほっとするひとときでした。ヨーチンとホーチルの合奏で「月の砂漠」では声を出さずに唄っておりました。独奏はホーチル(二胡)の「メロディー」ホーチルは弓の間に弦を挟んで



弾かれ、日本の胡弓に似ていますが弱々しい音色ではありません。ヨーチンの「ツォフリン・アイ」は音が明瞭で華やかです。150本の絃を二本の細い棒で叩いての演奏、その技に見惚れました。サウガゲレルさんの「ホーミーのメロディー」ホーミーという芸術は一人が二声(低音は一定にして高音はメロディー)を発するという説明がありました。高音ホーミー・低音ホーミー・鼻ホーミー等たくさんの種類があるのだそうです。また、口にくわえた口琴という楽器をはじいて珍しい音色を出されました。ホーミーはモンゴル西部で自然発生したとか。川の流れを二、三時間聴いていると理解できるようになるとのこと。ホーミーこそ今日聴きたいものでした。「チンギス・ハーンの讃歌」はチンギス・ハーンをたたえ、その伝説をうたったものだと思います。讃歌の伴奏はトプシュールという楽器で奏でられました。山羊トプシュール・白鳥トプシュールなどもあるのだそうです。モンゴル国と日本は発音や文法も似ているのだそうです。リンベも充分きかせて下さいました。リンベ(笛)の独奏は三回ありました。「モンゴルの四季」モンゴルの四季ははっきりしているそうです。モンゴル高原に首都ウランバートルがあり、高原の南方にゴビ砂漠がある。ウランバートルは大都会だそうです。「ハンブヒー山の叙情歌」では三種類の笛を腰の笛袋から出して吹かれました。美しい山、風、木、馬、豊かな自然を想像しながら聞き入りました。鳥の声を発することもありました。演目の最後「牧民たちの喜びのうた」は馬、山羊、羊、駱駝、牛の五大家畜とともに生活している遊牧民の暮らしを表現した演奏で、走るさま、心躍るしらべがファイナレを盛り上げました。数々の霊妙な技にじかに触れ得た感激に心がしびれた二時間でした。

<http://www.syoubei.com> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●古の楽の音ひびくコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで
※お電話は、9:00～12:00の間でお願いいたします。

参加費

¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員

90名・全席自由席
※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにご予約ください。

会場

桜の庄兵衛ギャラリー
豊中市中桜塚2-30-35
TEL 06-6852-3270
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

1 申込方法

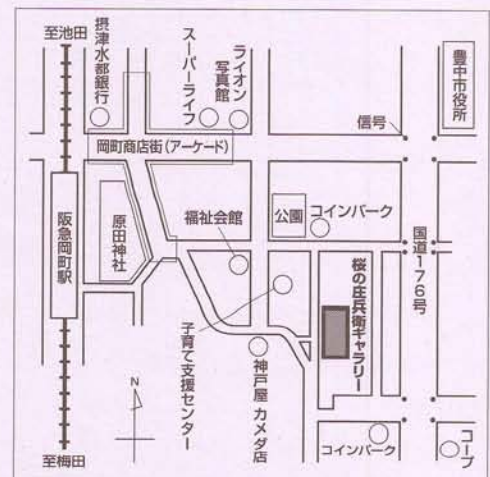
官製ハガキに下記の詳細事項をご記入になり、お席をご予約ください。

※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

| 宛先 | ご記入事項 |
|--|---|
| 561-0881 豊中市中桜塚 2-30-35 桜の庄兵衛 宛 | <ul style="list-style-type: none"> ●ご氏名(ふりがな) ●ご住所(郵便番号) ●お電話番号 ●ご希望の時間帯 昼の部または夜の部 ●ご参加人数(計〇名) ●グループ全員の ご氏名(ふりがな) |

代表者以外の方は、
当日受付にご氏名を
お付けください。

ご予約を受け付け次第、ハガキでご返信申し上げます。
※グループでお申込みの場合は、代表の方にのみご返信申し上げます。



2 申込方法

ファックスでもお申込みいただけます

※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受け付け次第、ハガキにご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法

インターネットでもお申込みいただけます

※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受け付け次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tcct.zaq.ne.jp